

大会ルール

1、試合時間

- ・ 予選・1回戦～準決勝まで 本戦1分30秒→延長1分(マストシステム)
決勝戦 本戦1分30秒→延長1分→再延長1分(マストシステム)
※再延長に関しては、技あり先取勝ちとします。それでも勝敗が決まらない場合はマストシステムとする。
※体重判定はありません。
※ワンマッチの場合は、決勝戦扱いとする。

2、防 具

- ・ 出場選手は空手着を着用し、拳サポーター、スネサポーター、ファウルカップ(男子のみ)を必ず着用する。
※女子クラスのファウルカップ(ガード)、布製チェストサポーター(胸のみ)の着用は任意とする。
※拳サポーター、スネサポーターは布製とし、革のグローブは使用禁止とする。
※個人で所有するヘッドガード(面有)やボディープロテクターを持参使用して下さい。
- ・ 男子は空手着の下に何も着用しないこと。
- ・ ボディープロテクターの着用は任意とする。
※ボディープロテクターはプラスチック製は使用禁止とする。
※ミドルステージ小学1年生以上のボディープロテクター着用は禁止とする。
※女子クラスミドルステージ小学1年生以上の布製チェストサポーター(胸のみ)の着用は任意とする。

3、一本勝ち

- ・ 反則箇所を除いて、突き、蹴り等を瞬間的に決め、相手を瞬間的にダウンさせるか、ダウンさせないまでも一時的に戦意を喪失させた場合。
- ・ 技ありを2本取った場合。

4、技あり

- ・ 反則箇所を除いて、突き、蹴り等を瞬間的に決め、相手が瞬間的に崩れたり、一時的に動きが止まった場合
- ・ 蹴り技がノーガードの状態で相手の上段にクリーンヒットした時はすべて技あり。
※但し、押し付けただけの蹴り、ヘッドギアをかすめただけの蹴りは認めません。
- ・ 足掛け及び合わせ技が決まり、ダウンした相手に瞬間的に下段突きを決めた場合。

5、判 定

- ・ 一本勝ち、失格がない場合は、主審、副審の過半数の判定で決める。判定が決まらない場合は、延長戦を行う。

6、反 則

- ・ 拳、肘、貫手による顔面・首への攻撃。
※手先が軽く触れただけでも反則もしくは失格となる場合があります。但し、牽制することは自由とする。
- ・ 顔面への膝蹴り。
- ・ 金的蹴り。
- ・ 頭突き。頭、体をつけての攻撃。
- ・ 背後からの攻撃、倒れた相手への攻撃。
- ・ 掴み、掛け手(肩、首、頭部への手掛け)、押し(掌底、拳、両拳、体によって相手を押した場合)。
- ・ 技の掛け逃げ。
- ・ その他、審判員が反則とみなした場合。

7、場 外

- ・ 片方の選手の両足が場外線から出た場合は「注意1」となる。

8、注意及び減点

- ・ 反則を犯した場合「注意1」が与えられる。「注意2」で『減点1』となり、『減点2』で失格となる。
※減点1＝技あり相当が相手側に与えられます。

9、失 格

- ・ 『減点2』を与えられた場合。
- ・ 試合中、審判員の指示に従わない場合。
- ・ 出場時刻に遅れたり、出場しない場合。
- ・ 粗暴な振舞い、悪質な態度とみなした場合。
- ・ 試合時に泣いた場合。(泣いていても審判が意思を確認し続ける意思がある場合は試合続行とする。)

10、注意事項

- ・ 試合中の負傷、事故が生じた場合は主催者側の責任は一切負わないものとする。
- ・ 応援態度が悪質で目にあまるときは、選手の減点または失格もありえる。
- ・ 審判に対する苦情、抗議は一切認めませんのでご了承下さい。
又、審判判定の誹謗中傷は固くお断り申し上げます。(次大会の出場をお断りする場合があります。)
- ・ 審判後方応援、本部席前にての応援はご遠慮下さい。